

長野県障がい者スポーツ大会(ソフトバレーボール競技) 競技規則

1 施設と用具について

- ① コートは 18m×9m の広さを持つ長方形とする。
- ② ネットの高さは 2m24 cmとする。
- ③ ボールは日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール球・糸巻き(円周 78±1cm、重量 210±10g)の規格のものを使用する。

2 チーム編成及び選手の交代について

- ① 1チーム精神障がい者 12 人編成とする。
- ② 試合は6人制とする。
- ③ コート上には常時女子選手が1名以上出場する。
- ④ 選手交代は、1セットにつき6回行うことができる。
- ⑤ 選手交代は、監督あるいはゲームキャプテンが主・副審に申し出る。

3 試合形式について

- ① 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
- ② 1セット 25 点(予選は 15 点)のラリーポイント制とする。
- ③ 第3セットは、15 点制で行い、コートの交代はいずれかのチームが8点先取したときに行う。
- ④ 試合は、ワンボールシステムで行う。

4 サービスについて

- ① サービスはエンドラインから前で打つことはできない。
- ② サービスを直接アタックもしくはブロックして返すことはできない。
- ③ サービスがネットに触って相手コートに入った場合もプレーを続ける。
- ④ サービスは主審の合図に従って打つこと。

5 レシーブ・アタック・ブロックについて

- ① 3回以内で相手チームにボールを返すこととする。
- ② 身体のどの部分でレシーブしてもプレーは続く。
- ③ 1回目もしくは2回目のレシーブがネットにかかってもプレーは続行する。
但し、同じ人が続けてボールに触れることはできない。
- ④ ブロックで触ったタッチは1回と数えない。

6 反則について

- ① 反則の判断は主審に従う。
- ② 以下の行為は反則とする。

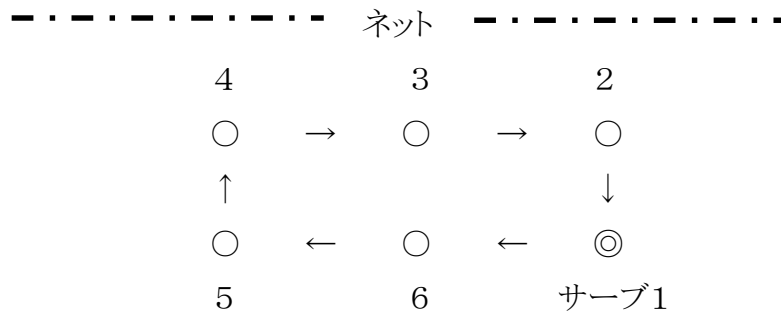
タッチネット、ダブルコンタクト(一人の人が2回続けて打つ)、キャッチ(ホールディング、ボールをつかむ)、ペネトレーションフォールト(足あるいは手がセンターラインを完全に超えて相手チームに入る)

7 タイムアウトについて

- ① 1セット中2回(30秒以内)とることができる。
- ② タイムアウトを取る場合は、監督あるいはキャプテンが主審に申し出る。
- ③ 主審の指示があった場合は速やかにプレーに戻る。

8 ローテーションについて

- ① ローテーションは下図の要領で行う。
- ② ローテーションはサービスをする前に行う。



9 ポジションについて

サービス後の攻守のポジションはフリーとする。

10 リベロプレイヤーの登録について

リベロプレイヤーの登録を行うことができる。